

令和6年度 宮城県立支援学校岩沼高等学園の研究概要 ～令和7年1月末現在～

運営委員氏名 ( 山下由香 )

研究テーマ	「働き続ける力を育て、職業的自立を目指した自立活動の在り方」 ～職場実習と関連付けた指導を通して（2年次）～
研究目標	働き続ける力を育てるために、一人一人の実態に応じた自立活動の指導の在り方を探り、職業的自立を目指す指導に生かす。
研究内容・方法 研究計画等	(研究内容・方法) (1) 自立活動に関する各計画の整備 (2) 職場実習との関連付け (3) 職業的自立を目指す自立活動の工夫・改善 (研究計画) ・研究全体会（4月、11月、2月） ・専門性向上研修会（7月） ・指導主事学校訪問（7月） ・校内研究授業日（9月、10月） ・校内研究日（10月 各学年 全3回）
研究の概要 ・研究経過 ・研究成果等	(1) 教務部が中心となり個別の支援計画の整備及び自立活動実態シートを含む個別の指導計画の整備を進め、教務支援システム操作研修会を実施した。また、生徒理解研修会及び校務支援システムの活用により、担任にとどまらず、学年を越えた指導場面においても、一人一人の自立活動の目標や手立てを知り、学校生活全般での指導に役立てることができるように整備した。 →自立活動の目標と指導内容を一覧にしたことで、学級、学年を越えた授業での指導支援や、実習の調整にも有効に活用できた。 (2) 職場実習と自立活動を関連付けた指導については、専門性向上研修会及び支援部と連携した教職員対象の校内研修会を実施し、研修を深めた。また支援部教員による生徒対象の職場実習に関する講話の提供を実施した。 →外部講師や支援部教員の話の内容には説得力があり、教職員対象の研修会や生徒対象の講話は大変有意義であった。 (3) 自己評価や担任面談の実施で自己理解と意識付けを図り、「自立活動目標達成シート」を活用し、日常生活全般を通して自立活動を意識し、PDCAサイクルで自立活動の目標の達成を目指すことができるように工夫をした。また、各学年による校内授業研究会を実施し、生徒の実態に応じた支援について話し合いの時間を持った。 →シートを活用した面談を繰り返し行うことで、変容や成長を振り返る良い機会となった。また、生徒自身が評価を可視化できた。一方で、十分な活用に至らなかった教師も多く見られた。 →研究授業を通して事後検討会を実施し、多くの意見を聞くことで授業を見直したり参考にしたりする機会となり、指導に役立てる機会となった。

※本様式内で簡潔にまとめてください。なお、項目名や枠の大きさは任意に変更していただいて結構です。